

特集

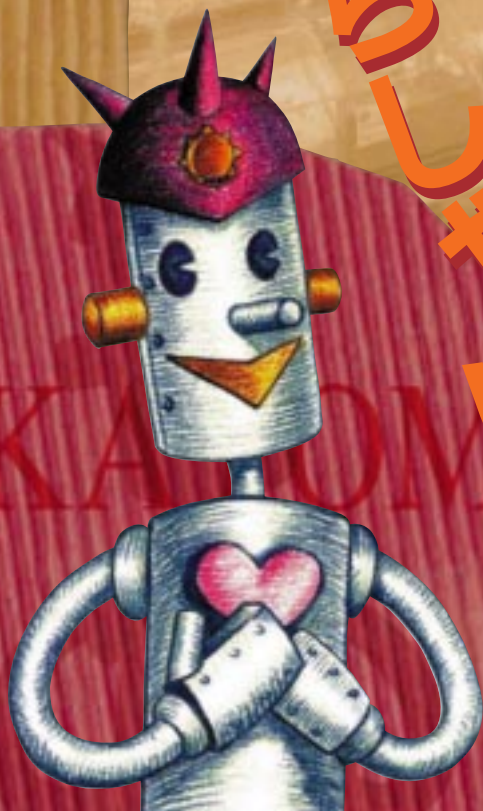
な  
む  
こ  
屋  
総  
本  
人  
謝

古いから新しいエンターテインメントグッズストア

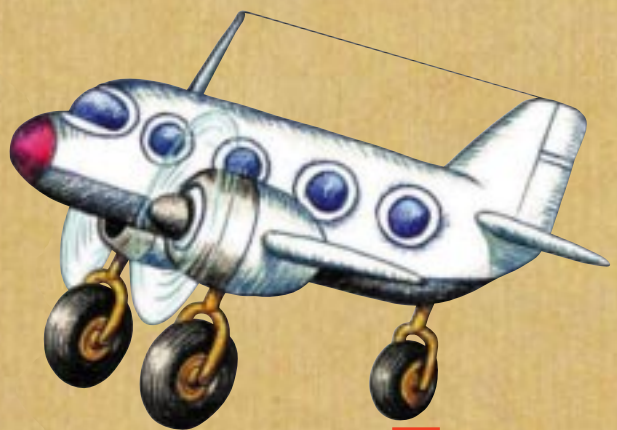
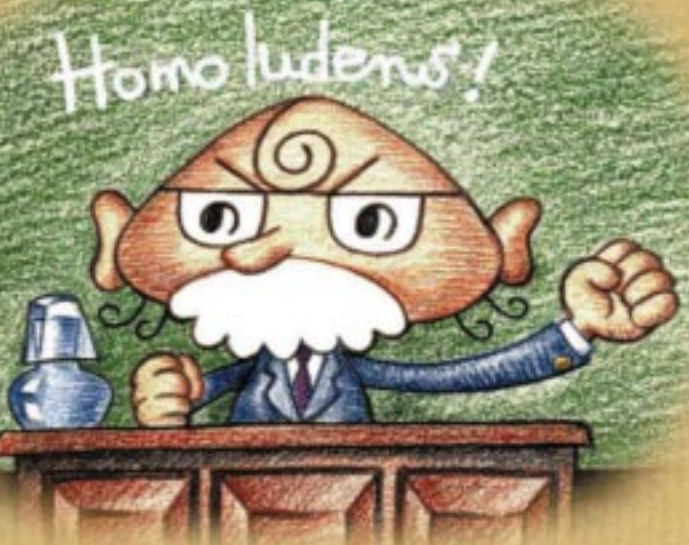


最近じゃ、とんと見かけなくなった駄菓子、チープなディスプレイがうれしいグッズ類、キッチュなキャラクター商品などなど、どこか懐かしくて味があるアイテムが勢ぞろいした『なむこ屋総本舗』を知ってるか？ まだ未体験のキミのために、夢があふれる『雑貨の王国』を案内しよう！

いらしゃい!







懐かしくてもあったかい

# なむこ屋総本舗物語

訪れたすべての人々を幸せな気分にしてしまう『なむこ屋総本舗』。時代を越えてキミたちのハートをつかむグッズたちは、どうやって生まれてきたのだろうか。いま、初めて誕生秘話が明かされる。

20世紀も残りわずかとなった19xx年、エンターテインメント学会の重鎮として長く活躍してきたワンダー博士は、時代の進歩と遊びとの関係について深く悩んでいた。ハイテクを駆使したおもちゃや施設があってもいい。でも、あまりに技術ばかり追いかけすぎて、人は大切なものを失いかけているのではないだろうか。そう、ココロだ。ココロのあったかさが欠けた世の中は、夢をばくむくこともできないのだ……

誰よりも地球を愛し、生命や霊をつやまひ、情緒にこだわる博士は川の岸辺で仙人のような暮らしをするようになった。  
 そんなある日、河口に打ち上げられる古いオモチャやガレキの山をぼんやりと眺めていた博士は、あることに気がついた。ハイテクの時代では何の価値もないからと捨てられたモノたちだけ、よく見れば斬新なデザインだったり、美しい色をしていたり、手作りの素朴な味わいを持っていたりするのだ。このヒューマンな存在感もまた、ハイテクとは異なったもつろのエンターテインメントと言えるのではないだろうか。

廢材やブリキを集めて作ったアトリエで博士の挑戦が始まった。懐かしさ、あたたかさ、楽しさ、せつなさ。博士が作り出す世界には、みんなが忘れてかけていた人間らしい感性があふれ、見る人を甘酸っぱい気分にしてしまうのだった。  
 そんな博士をしっかりと支えたのは最愛のパートナー、シーモア。

サマーグラス。子供のようにキラキラしたココロを持つ彼女に励まされながら、研究の日々が続く。そして、流れ着いたガラクタを使った5体のロボットが完成。彼らは「カトム」「サトム」「タトム」「ナトム」「ハトム」と名付けられ、自由さや純粋さなど、本来は人間が持つべき感性が与えられた。

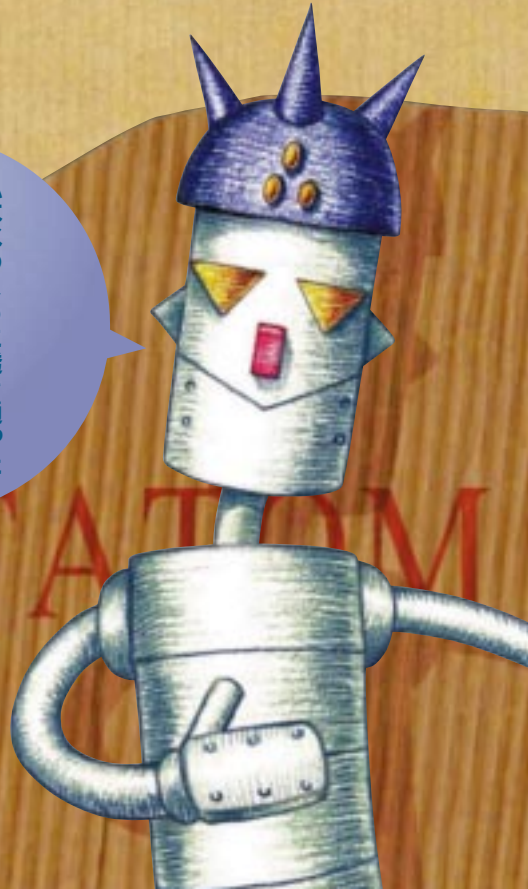
こうして素晴らしいパートナーとロボットに囲まれた博士が、笑ったり泣いたり、彼らと楽しく生活しながら作り続けたモノたちが、次第に河川の近くに住む人々のココロをとらえはじめ。そして、いつしか人々は博士たちが再生したモノや、忘れられようとしている窮地から救い出した作品を「エンターテインメントグッズ」と呼ぶようになったのだ。

ウワサを聞きつけて博士の元を訪れたのが、世界中を旅してあらゆるモノやコトを見てきた詩人、フラワー・ジョーだった。少々のことでは驚かないジョーだが、博士のアトリエを見た瞬間、カラダに電流が走るようなショックを受けたという。そこにはジョーが子供の頃に夢中になったモノが、あるものは現代風にアレンジされ、またあるものは当時の姿のまま、再現されていたからだ。これほど愛情と輝きに満ち、ハートを刺激する世界は見たことがない。いいモノは時代を越えて受け継がれていくべきなのだ。私の使命は、ワンダー博士の理想とするアトリエを作り、みんなに届けることだ。

彼は、博士の考え方に大きな感動を受け、この素晴らしい世の中に伝えることを決心した。  
 『なむこ屋総本舗』の誕生だ。  
 ジョーはワンダー博士からもらった花の種を旅先に蒔き、やがてそこから小さな芽が出て育っていった。キミたちが目にする3000ものグッズたちは、こうして博士たちが再生し、選び抜いたものなのだ！



私は水のように透き通った感性を持つ「タトム」。河川に打ち上げられたところをワンダー博士に助けてもらったのデス



ぼくは「ハトム」。生みの親であるワンダー博士が作り上げた遊びの精神あふれる世界、わかってもらえたかな



なむこ屋魂が爆発の

3000種

アイテム

さあ、「おもてなしワールド」へタイムスリップしよう！

いよいよ『なむこ屋総本舗』へご案内。いったいどんな店なのか、どこがキューキョクなのか、さっそくチェックしてみよう



所狭しとエンターテインメントグッズが並ぶ明るい店内は、いつでもにぎやかでワクワクする。きっとキミがほしくなるものがあるはずだ！



何気なくへんなモノがディスプレイされているのが『なむこ屋総本舗』の魅力なのです



昔はやったロボットも、ちゃんと現役で販売されている

駄菓子から懐かしキャラまで、ココにはみんなの夢が詰まっているヨ



安くて楽しくなくちゃ

『なむこ屋総本舗』じゃない

ドキドキ、わくわく、遊び心をソッパするエンターテインメントグッズたち。なかでも人気は駄菓子。けっして高級じゃないけど、妙なおいしさがウケている。あと、フリキのおもちゃもイケてます！



おもしろ懐かしのおもちゃたち

フリキのおもちゃからゼンマイ人形、キャラクターアイテムまで、いま見ると新鮮だったりするアイテムも豊富。最新のフィギアなんかも置いてあったりするけれど、こいつら懐かしモノはホッとするなあ。



店長さんに聞いた駄菓子の人気者

「ダイクマ金沢店」の店長さんに聞いた、売れてる駄菓子を大公開！



うまい棒 全13種類、人気NO.1はメンタイ味(¥10)

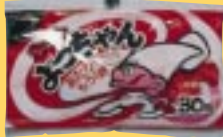


チョコパット ヒット5枚で1本、ホームランならその場で1本の当たりつきだ(¥20)



チロルチョコ 昔から、子供はこれで育つのだ(¥10)

ラムネ 口に入れるとジュワッと広がる味が快感(¥20)



よっちゃんの酢つけイカ 駄菓子の定番として不滅の人気を誇る(¥30)



シャンペンサイダー 口当たりはシュワシュワ、さわやか(¥20)

さくらんぼ餅 ほどよい甘さとねちっこさ(¥20)



すも太郎 関東で大人気のすもも。すっぱいぞ(¥30)

オリジナルグッズもあるぞ！

ワンダー博士グッズやパックマンものなどここでしか手に入らないレアものだ



オリジナルあぶらとり紙(¥300)

オリジナルライター(¥350)

ナムコのコインチョコ(¥20)

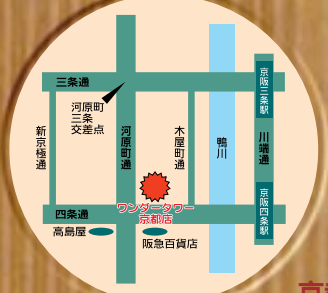
1995年6月に、半年間の期間限定で零号店をオープンさせてから3年足らず。うれしい悲鳴を上げちゃうほどの大人気にこたえて、いまでは全国に9つの店舗が登場するまでになった。なむこ屋総本舗。人気の秘密はなんといっても、ほかではなかなか手に入らない、昔懐かしいエンターテインメントグッズや、よくこれだけ探すもんだとみんなをアキせさせるほど充実したひとくせある商品ラインナップにある。しかも安い。駄菓子などは10円からあり、100円玉ひとつでかなりの買い物ができるほどだ。取り扱っている商品数は3000種にもなるというから、かなりマニアックな品ぞろえなんだけど、誰でも楽しめるものばかりだからうれしくなる。売っているのは子供の頃に一度は食べたことのある駄菓子だったり、おもちゃだったり、気の利いた文房具だったりするんだ。まあ、ありとあらゆる「なくてもいいけど、あったらすごく楽しくなる」グッズだらけってとこかな。一歩足を踏み入れただけで、気分がホンワカしちゃうこと間違いなし。かと思つとレアな輸入アイテムがさりげなく置かれていたり、オリジナルグッズにも力を入れていたりするから油断できない。どんな商品が並んでいるのか、ストア内を探検するだけでもちよっとしたスリルがあるぞ。なかでも駄菓子には力を入れていて、「あ、これ知ってる、昔好きだった」と懐かしくなるものがいっぱい。まさに、駄菓子にかけては日本一の品ぞろえを目指しているって感じ。というのも『なむこ屋総本舗』では、忘れて欲しくないもの、消えて欲しくないものを、もう一度みんなの手に届けることが使命だと考えているからだ。これは、駄菓子だけじゃなく、すべてに共通すること。そのため、各店舗では独自に「これはぜひ見せたい」というものを集めた企画コーナーを設置したりもしている。あるときは銭湯をテーマにして、小さなシャンプーやヒゲ剃りセット、軽石、ツバキ油からヘチマ、アカすりタオルまで、一挙に販売してみたりって具合。スタッフ側の遊び心が伝わってくるよね。じゃあ、どんなお客さんがやってくるのか、実際に店に足を運んで確かめてみた。わかつたのは、ここへは小学生から中・高校生、果てはOLのお姉さまからオジサンまで、あらゆる人たちが世代を超えて集まってくるということ。同じ駄菓子でも、子供にとっては初体験のお菓子で、いかに満足度の高い買い物をするかを必死で考えている。中・高校生にとっては「オレ、これ好きだったんだ」であり、オジサンにとっては「うう、こんなところで再会するとは。まだ生き残っていたのか(涙) みたいな懐かしい味だったりするのだ。最新のハイテクグッズは何一つないけれど、安心できる何かがここにはある。だからこそ、みんな瞳を輝かせて店内をウロウロしているんだろな。





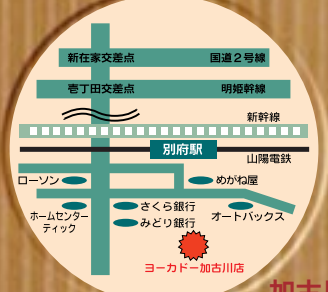
名張店

三重県名張市夏見字下川原251-1 パークシティ名張店内  
0595-64-0121



京都店

京都府京都市中京区河原町四条上ル下大阪町354  
ナムコ・ワンダータワー京都店 1F 075-254-0751



加古川店

兵庫県加古川市別府町録町二番地 イトーヨーカ堂加古川店 3F  
0794-36-7120



金沢店

神奈川県横浜市金沢区富岡東2-4-29 ダイクマ金沢 2F  
045-776-2730



浜大津店

滋賀県大津市浜大津4-1-1 浜大津 OPA 店 3F  
077-527-9716

プレゼント券

全国はむこ屋 9店舗

有効期限 / '98.4.1 - 5.31

品切れの際はご容赦下さい。

品ぞろえに自信あり！！

# 『なむこ屋総本舗』は こだわり職人だった!?



おもてなしの心は、  
こうしたこだわりから  
生まれてくるんだ!!

## 『フェア・トレード』で 途上国をヘルプしよう

### グローバル・ヴィレッジ

エスニック雑貨を扱う店は多いけれど、集められた商品は海外で安く仕入れてきたものが多い。それじゃあ、買うほうはいけど作るほうはちょっとも豊かになれない。不公平じゃないの? ということで、『フェア・トレード』(公正な貿易)を実現させるべく、このグループが立ち上げた。途上国に前払いで料金を払い、技術的な支援をし、作る側も買う側もメリットがあるように活動している。現在、15か国から商品を輸入、販売はカタログを見て申し込む方法が中心だ。ここで商品を買えば、発展途上国の人たちに少しでも協力ができるといふわけだ。ボランティア活動なんてどうやっていいかわからない人でも、自分が買うことで、現地の生活の助けになる。『なむこ屋総本舗』でも、できるだけ商品を置いていくつもりなので、みかけたら買ってあげよう!

### グローバル・ヴィレッジ 5つの環境ポリシー

1. 森を壊さない
2. 空気を汚さない
3. 水を汚さない
4. 人と命を守る
5. 無駄にしない

こうした考えのもとに作られたエコロジカルな衣料、インテリア、雑貨などが満載のカタログを希望する方は、200円切手(カタログ郵送に使用)同封の上、次のアドレスに申し込んでください。

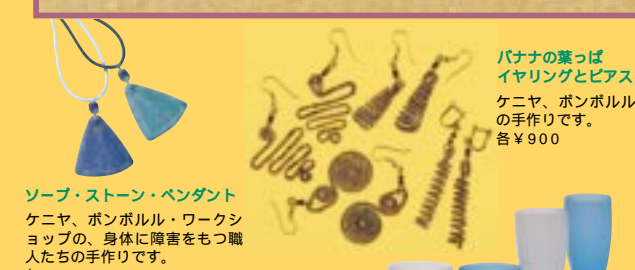
〒158-0092 東京都世田谷区野毛1-13-16  
グローバル・ヴィレッジ宛

## 『ハクキンカイロ』知ってるカイ?

### 株式会社ハクキン



大正14年の創業以来、75年間作られ続けカイロの代名詞になってしまったハクキンカイロ。当初もいまも基本原理は変わらないロングセラー商品だ。競争中は重需品としてエンジン温めるのに使われ、米軍が採用してからは世界に広まった。『カイロ』のオリジナリティはここにある。燃料はベンジン。使い捨てもいけれど、洗って繰り返し使える魅力にあふれ、古さを感じさせない人気商品だ。



ソープ・ストーン・ペンダント  
ケニヤ、ボンボルル・ワークショップの、身体に障害をもつ職人たちの手作りです。  
各¥1,200

バナナの葉っぱイヤリングとピアス  
ケニヤ、ボンボルルの手作りです。  
各¥900



処理工程で塩素を一切使っていない再生紙を使用したカタログ。

### 吹きガラスシリーズ

70%リサイクルガラスを使用して作られたフロスト・ガラス。インドのプシュパンジャリという職人をサポートする共同組合で手作りされました。  
¥300より

### フレンチスリーブのTシャツ

素材綿の50%はオーガニック、収穫の効率化のために多用される枯れ葉剤などの薬品を一切使っていません。また、デザイン・インクでは環境にやさしく、色褪せしない質には定評あり。  
各¥3,300



ウインド・チャイム  
すがすがしい音に心洗われる思いがします。  
¥1,700より



オーガニック・コーヒー・シリーズ  
豆の収穫前に代金を前払いすることによって、農民たちの生活を保障します。グatemalaの方にもきくと気に入っていた。フレッシュなおいしさ。  
¥800より

ただ便利だけがモノの価値じゃない。古いけれど味がある、使って楽しい、大事なメッセージを含んでいる……。こだわって作られた商品を見つけたら積極的にストアに並べ、みんなに良さを伝えたい。それが『なむこ屋総本舗』のポリシー。選ばれた商品たちには、いずれ店を巡回して来るものもある。出会ったら、ぜひ手にとってね。

## 不滅の駄菓子マインド 『うまい棒』

### 株式会社やおきん



数ある駄菓子の中でも断然の人気なのが「うまい棒」。これを作っているやおきんは、他にも数々のヒット商品を開発しているメーカー。子供たちのために、少しでも安く、おいしいお菓子を作ろうとがんばっている。「うまい棒が発売されたのは20年ほど前、はそれとから一度も値上げしてないんですよ」(角谷昌彦社長)。  
なんと、20年間ずっと10円。値上げしない分は最新の機械を導入することでカバーしているのだそうだ。素晴らしい! 角谷さんによると、駄菓子の世界は昔に比べてはるかに味も素材もよくなっているとか。  
それは、駄菓子メーカーが一致団結して努力してきたからだ。駄菓子は子供たちの文化。これがなくなったら本当に味気なくなるもんね。

## 『湯たんぽ』は使って安心の健康グッズなのだ

### 菅谷金属工業株式会社

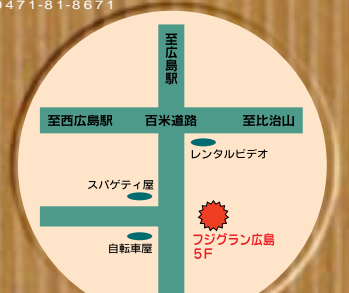


湯たんぽは、ぼつこりした容器にお湯を入れてふとんに持ち込む暖房グッズ。このところ電気毛布などに押されていたけど、最近は適度な温気を出し健康にいいというところで見直されつつある。でも昔はいっぱいあったメーカーも、ガス器具メーカーに变身したりすっかり減ってしまった。そんな中、関東で唯一のメーカーとして奮闘しているのが菅谷金属工業。いまは機械化されましたが、昔はハンダ職人が一個ずつ作ったものです。プラスチック製もあるんですが、売れ筋は昔ながらのトタンを使うものが主流だね(菅谷さん)。お湯を入れたり抜いたり、くっついて便利ではないけど、湯たんぽを抱えて眠るのは懐かしくて気持ちいいぞ。

## なむこ屋総本舗 全国ショップMAP



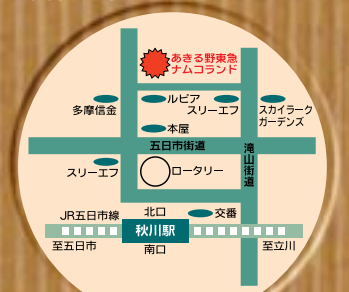
我孫子店  
千葉県我孫子市我孫子142-1 あびこショッピングプラザ 3F  
0471-81-8671



広島店  
広島県広島市中区宝町2-1 フジグラン広島店内  
082-242-6420



高崎店  
群馬県高崎市中屋町字鳥羽前44-1 赤まる広場 2F  
0273-63-1126



あきる野店  
東京都あきる野市秋川1-17-1 あきる野野東急 4F  
0425-50-0420